

記者発表資料

発表年月日	送信枚数	発信元
令7年11月28日	10枚 (本紙含む)	上郡記者クラブ事務局 担当：上岡 TEL：0791-52-1112 FAX：0791-52-5172

上郡町議会定例会の開催

11月26日(水)に議会運営委員会を開催し、11月定例会の会期を12月2日(火)から12月15日(月)の14日間と決めた。

一般質問は、12月2日、3日、4日の3日間。議会中継はケーブルテレビでも放送。

■日時 令和7年12月2日(火)～令和7年12月15日(月)の14日間

■場所 上郡町役場 4階 議場(赤穂郡上郡町大持278番地)

■会議に付すべき事件 議事日程のとおり

■問い合わせ先

部署：上郡町議会事務局

住所：赤穂郡上郡町大持278番地

TEL：0791-52-3512 FAX：0791-52-6650



さわやかに歴史と未来の出逢うまち 上郡町

令和7年12月上郡町議会定例会日程

月 日	曜日	内 容
12/2	火	会議録署名議員の指名～諸報告、一般質問
3	水	一般質問
4	木	一般質問、議案説明及び表決、補正予算説明
5	金	議案説明及び表決、補正予算説明
6	(土)	休 会
7	(日)	休 会
8	月	休 会 (付託委員会)
9	火	休 会 (付託委員会)
10	水	休 会
11	木	休 会
12	金	付託案件表決、補正予算表決、追加議案説明及び表決
13	(土)	休 会
14	(日)	休 会
15	月	付託案件表決、補正予算表決、追加議案説明及び表決

令和7年12月上郡町議会定例会議事日程

(令和7年12月2日開会)

日程	議案番号	議 事 日 程
		議会運営委員長報告
1		会議録署名議員の指名
2		会期決定の件
3		町長挨拶（提出案件に対する説明）
4		執行状況及び諸報告
5		議会活動報告
6		常任委員長報告
7		特別委員長報告
8		一般質問
9	諮問第1号	人権擁護委員候補者の推薦につき意見を求める件
10	諮問第2号	人権擁護委員候補者の推薦につき意見を求める件
11	同意第6号	上郡町教育長の選任につき同意を求める件
12	報告第5号	【専決第6号】 専決処分の報告の件（損害賠償の額を定め和解することの専決処分について）
13	議案第56号	工事請負変更契約締結の件
14	議案第57号	議会の議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例制定の件
15	議案第58号	特別職の職員で常勤のものとの給与及び旅費に関する条例の一部を改正する条例制定の件
16	議案第59号	職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例制定の件
17	議案第60号	上郡町放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例制定の件
18	議案第61号	上郡町家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例制定の件
19	議案第62号	上郡町特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例制定の件
20	議案第63号	上郡町乳児等通園支援事業の設備及び運営に関する基準を定める条例制定の件

2 1	議案第64号	令和7年度上郡町一般会計補正予算の件
2 2	議案第65号	令和7年度上郡町特別会計国民健康保険事業補正予算の件
2 3	議案第66号	令和7年度上郡町特別会計後期高齢者医療事業補正予算の件
2 4	議案第67号	令和7年度上郡町特別会計介護保険事業補正予算の件
2 5	議案第68号	令和7年度上郡町水道事業会計補正予算の件
2 6	議案第69号	令和7年度上郡町下水道事業会計補正予算の件

令和7年12月上郡町議会定例会
一般質問通告書及び質問事項

質問者	質問の要旨	掲示物	答弁を 求める者
1 立花 照弘	(1) 学校教育現場における問題点について ① 教師によるセクハラとその対策について問う。 ② 教師の働き方改革とその対応策について問う。	—	教育長
	(2) 害獣対策について ① 狩猟免許取得対策と現状について問う。 ② 今大きな問題になっている熊対策について問う。 ・町内における熊対策の実態は ・教育現場における熊対策は	—	町 長 教育長
2 田渕 千洋	(1) 高齢者支援策について ① 聴覚機能の衰え予防についての取組を問う。 ・聴覚フレイルについて ・補聴器購入助成について ② RSウイルス予防の高齢者に対する取組を問う。	—	町 長
	(2) 女性に選ばれるまちづくりについて 「女性に選ばれるまちづくり」の取組の現状と課題について問う。	—	町 長 教育長

質問者	質問の要旨	掲示物	答弁を 求める者
3 佐野 廣一	<p>(1) 国勢調査の対応について</p> <p>① 調査員の募集や教育方法、人数、報酬及び身分を問う。</p> <p>② 前回(2020年)の全国の調査票の回収及び結果報告は、いつごろ町に届いてどのように町政に活かしているのか。また、国勢調査は義務となっているが、未回収者に対する罰則はあるのか問う。</p> <p>③ 国勢調査と住基(住民基本台帳)とでは内容に差があるようだが、町ではどちらを重要視しているのか問う。</p> <hr/> <p>(2) 終活の薦めについて</p> <p>① 高齢者を対象に「終活」の勉強の機会やセミナーを開催する計画があるのか問う。</p> <p>② 高齢者の人たちの生存を町として把握していく方法をどのように考えているのか問う。</p> <p>③ フレイル(虚弱)予防で人と交わったり、運動や趣味にいそしんで生きる喜びや健康寿命の延長につながる活動をどのように推奨しているのか問う。</p> <p>④ 独居者の死亡(孤立死)が全国的に増加していると聞かすが、遺体の引取り手が不明の時の町の対応を問う。</p> <p>⑤ 将来に備えて「エンディングノート」の作成や地域の中で「現況届け」を作成する取組の推奨について問う。</p>	-	町 長

質問者	質問の要旨	掲示物	答弁を 求める者
4 澤田 正治	(1) 中学校の部活動地域展開について ① 部活動の意義について問う。 ② なぜ地域展開されることになったのか問う。 ③ 部活動地域展開の現状について問う。 ④ 地域展開の課題について問う。 ⑤ 課題解決の方向と今後の見通しについて問う。	-	町 長 教育長
	(2) 千種川水系の環境保全について ① 水系の水と環境をまもる意義について問う。 ② 水系の環境保全のための具体策について問う。	-	町 長
	(3) 産廃最終処分場建設計画について ① 新たな動きはあるのか問う。 ② 民間団体への支援について問う。	-	町 長
5 柳川 貴洋	(1) 太陽光発電に関する施策について ① これまで実施してきた補助金の実績とその効果を問う。 ② メガソーラーに関する安全管理と規制強化を問う。 ③ 太陽光パネルの不法投棄防止策とリサイクル体制構築に向けた施策を問う。 ④ 蓄電池を含めた上郡町の今後の太陽光発電に関する施策の方向性を問う。	-	町 長
	(2) 空き家対策の推進について ① 空き家の実態把握の現状とGIS台帳の整備状況を問う。 ② 危険空き家への対策と解体補助制度の実績を問う。 ③ 空き家バンクの成約実績と利活用推進策を問う。 ④ 空き家発生の予防策と相談・情報連携体制を問う。 ⑤ 上郡町の今後の空き家対策に関する施策を問う。	-	町 長

質問者	質問の要旨	揭示物	答弁を 求める者
6 井上 としひろ	<p>(1) 梨ヶ原・西有年産業廃棄物最終処分場建設阻止に向けた町長の決意について</p> <p>梨ヶ原・西有年産業廃棄物最終処分場建設を阻止するためには幾つかの方法がある。</p> <p>まず、事前協議の段階では、町長も議会も県や事業者意見書や事業撤退の要望書を提出している。</p> <p>さらに、ダンプが1日70台通るという進入路を作らさないこと、梨ヶ原自治会を産業廃棄物最終処分場建設賛成から反対に変えること等があるが、最終的に事業者が許可が下りた場合、事業者としての適格性の判断の誤りを主張して県の許可の取消訴訟を提起することである。</p> <p>町長は、この訴訟まで提起する決意はあるか問う。</p> <hr/> <p>(2) ツリ山問題で、9月議会からこの間の債権回収の成果について</p> <p>ツリ山問題は、産廃を放置した悪徳業者が最大の問題だ。</p> <p>当初の町の方針は「業者が片付けるべきもの」であった。しかし、議会が町による産廃撤去を求める意見書がでた。その後、町は町費で撤去することを決定した。費用は町の財政調整基金から約2億7000万円支出した。</p> <p>① 産廃は建築廃材だが、どんなものが入っているか危険性の度合い、撤去の緊急性はどうかについて専門家に調査を依頼したか、そしてその調査結果はどうであったか問う。</p> <p>② 当初町による産廃撤去に否定的だった町が、町による撤去に踏み切った判断の根拠を問う。</p> <p>③ 町長や議会の産廃の町による撤去という判断とその行為を痛烈に批判する町民が今でもいるが、町長はこれら町民にどのように向き合うのか問う。</p> <p>④ 9月議会からこれまでの債権回収に、何を行ってどういう成果があったのかを問う。</p>	<p>—</p> <hr/> <p>—</p>	<p>町長</p> <hr/> <p>町長</p>

6 井上 としひろ	<p>(3) 町の中心部の再生について</p> <p>当町の現状は、町の中心部がシャッター商店街となり、夕方 18 時以降は飲食店が閉まってしまう。今多くの地方市街がこのような状況だ。</p> <p>私は約 40 数年前、大学を出て岡山県小田郡矢掛町の学習塾に勤めていた。当時の矢掛町中心部は、当町と同じ状況だった。それから 20 年、さらに衰退していったようだ。</p> <p>私は還暦を機にキッチンカーでコーヒーを売るようになったが、30 年ぶりに矢掛町のマルシェに出店した。その時見た矢掛町の活気に満ちた変貌ぶりは衝撃的だった。</p> <p>毎月のマルシェは 60 店舗近くが出店する活況ぶりだ。その街の再生を矢掛町と担ったのがピュアランド指定管理者の代表だ。</p> <p>当町も第 2 の矢掛が可能であるか、指定管理者の代表と模索してみてもどうか問う。</p>	-	町 長
-----------	--	---	-----

質問者	質 問 の 要 旨	揭示物	答弁を 求める者
7 井口 まさのり	(1) 公職選挙法について 公職選挙法第 235 条 虚偽事項の公表罪に対する対応について問う。	有	町 長
	(2) 町の将来について 上郡町都市計画マスタープラン及び総合計画における個別具体的な実施計画のあり方を問う。	有	町 長
	(3) 官民連携における町活性化について 国からの補助金及び交付金をどう活用するのかを問う。	-	町 長

質問者	質 問 の 要 旨	揭示物	答弁を 求める者
-----	-----------	-----	-------------

8 米田 浩樹	(1) 女子トイレへの生理用品の設置（ジェンダー平等の観点で）について	有	町 長 教育長	
	<ul style="list-style-type: none"> ① 学校女子トイレへの生理用品の設置の現状と、未設置校の設置しない理由を問う。 ② 「いのちの安全教育」の実施状況と性暴力から子どもたちを守る対策を問う。 ③ ジェンダー平等社会の実現に向け、公共施設のトイレへの生理用品設置の計画を問う。 			
	(2) 高齢者・子ども・女性・障がい者・訪問者に使いやすい公共トイレについて			
	<ul style="list-style-type: none"> ① 公共施設のトイレは高齢者・子ども・女性・障がい者に優しくなっているか問う。 ② 避難所仮設トイレの計画は、高齢者・子ども・女性・障がい者への配慮がされているか問う。 ③ 船坂地区に公衆トイレを設置できないか問う。 	有	町 長 教育長	
(3) 社会保障の充実について	有			町 長 教育長
<ul style="list-style-type: none"> ① 学校給食費の無償化を問う。 ② 公共交通再編の方向性及び高齢者に寄り添う見直しを問う。 				